

琉球王国時代の技を伝承、
現代のライフスタイルへ。

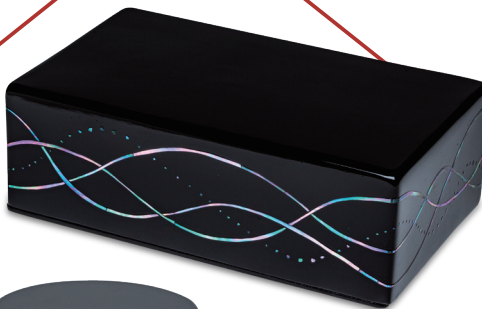


朱漆寒山拾得螺鈿四方盆 復刻作品
嘉数 翔



黒漆雲双龍螺鈿椀
(蓋付) 復刻作品
島袋 香子

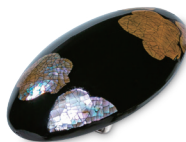
上江洲 安龍



渡慶次 愛



島袋 香子



嘉数 翔

琉球漆芸

EXHIBITION

第2期「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」作品展

2026.6.15(月) - 6.28(日)

入場無料

時間 | 9:00~18:00 (土・日11:00~19:00まで) 初日は11:30開場、最終日は17:00まで
入館は閉館の30分前まで

会場 | 琉球銀行本店ビル2F (りゅうぎんホール) 那覇市久茂地1-11-1

主催 琉球銀行 共催 株式会社沖縄タイムス社 後援 浦添市教育委員会



沖縄のために、挑みたい未来がある。
琉球銀行グループ

「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」とは

琉球銀行は、2018年の創立70周年を機に、新たな文化支援事業として「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を開始いたしました。

本事業では、美術館や博物館に収蔵されているような、琉球王国時代の貴重な作品を、現代の技術者が復刻いたします。その復刻作品の技法を活用した新商品（現代版の商品）を製作することで、漆従事者の技術継承や産業継続の支援を目的として実施しております。

今回の展示会は、過去3年間で完成した、復刻作品と新商品などを関係者の皆様のご協力のもと、展示いたします。



復刻作品

朱漆寒山拾得螺鈿四方盆
| 製作者 | 嘉数 翔



復刻作品

黒漆雲双龍螺鈿椀（蓋付）
| 製作者 | 島袋 香子

xxxxxxxx 2022年度～2024年度 習得技法 xxxxxxxx

螺鈿とは

夜光貝やアワビなどの貝殻を、繊細にカットして漆器などの表面にはめ込んだり、貼り付けたりする技法です。

3年間（2022年度～2024年度）で、1つの漆技法を学ぶ形式を取っており、「螺鈿（らでん）」の技法が活用された作品を製作いたしました。



作家紹介



上江洲 安龍 anryu uezu

那覇市出身。沖縄県立芸術大学大学院修了。現在は沖縄県立芸術大学非常勤講師として後進の指導にあたる傍ら、沖縄美ら島財団の伝承者養成事業「建造物琉球漆塗【首里城】」に参加し、琉球漆芸の伝承と発展に尽力している。

受賞歴に、2021年沖縄県立芸術大学 第32回卒業・修了作品展「デパートリウボウ賞」、2022年第73回沖縄「奨励賞」など。2023年にはデパートリウボウryubo art galleryにて個展を開催。



嘉数 翔 sho kakazu

八重瀬町出身。金沢美術工芸大学大学院修了。沖縄県立芸術大学大学院博士後期課程在籍。研究制作と並行し、株式会社漆芸工房にて扇額制作等に従事。

受賞歴に、第73回沖縄「浦添市長賞」、第75回沖縄「沖縄賞」、第76回沖縄「奨励賞」など。

2025年に第3回研究展覧会を開催、2026年6月5～9日に「嘉数翔学位審査展覧会」（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館）を開催。



島袋 香子 kako shimabukuro

与那原町出身。2018年に沖縄県立芸術大学を卒業し、2020年には同大学大学院造形研究科を修了。沖縄県工芸振興センター漆芸技師や沖縄県立芸術大学教育補助専門員を経て、現在は同大学工芸専攻助手として教育のサポートを行っている。

2020年には「国際漆展・石川2020」に入選。大学院修了後、琉球王国文化遺産集積・再興事業「黒漆雲龍螺鈿東道盆」復元制作に携わった。



渡慶次 愛 ai tokeshi

浦添市生まれ。沖縄県工芸士、伝統工芸士（琉球漆器 髹漆）。沖縄県工芸指導所漆工課終了後石川県輪島市で福田敏雄氏に師事。2010年沖縄県名護市に工房設立。

2024年にGucci Bamboo1947:then and Nowでグッチバンブーバッグとコラボレーション、2026年の個展予定 CIRCLE THE GALLERY（京都）、Luft shop（沖縄）、工藝風向（福岡）、銀座和光（東京）

企画展参加 Hyakko:100+Makers from JAPAN（JAPANHOUSE Los Angeles, LONDON）など。